

デザインイノベーション ワークショップ



大阪商工会議所と大阪工業大学が設置・運営する都心型オープンイノベーション拠点「Xport」は、このたび開設1周年を迎えます。その記念事業として、イノベーション創出に効果的といわれる「デザイン思考」をテーマにしたワークショップを開催いたします。世界のイノベーション創出を牽引するスタンフォード大学の最新手法を体験的に学んでいただけるプログラムをご用意しました。ぜひ、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

◆開催概要

【日 時】2019年4月16日（火）10:00～17:00

【場 所】都心型オープンイノベーション拠点「Xport」（大阪工業大学 梅田キャンパス8階）
（大阪市北区茶屋町1番45号）

【参加費】Xport会員：7,000円/人、Xport非会員：17,000円/人（いずれも昼食代込み）

【定 員】80人（申込み先着順）

【主 催】都心型オープンイノベーション拠点「Xport」

お申込み・内容の詳細は下記URLまたは右QRコードにアクセスください。

<http://www.osaka.cci.or.jp/event/seminar/201903/D22190416010.html>



◆プログラム ※逐次通訳付

10:00～10:15

＜オープニング＞ イントロダクション、グループ分け

10:15～12:00

＜講義＞デザイン工学に基づくイノベーションデザイン手法について ～Dancing With Ambiguity～

「課題の曖昧性の中でイノベーションを模索する」ことをテーマに1967年からスタンフォード大学で指導されているデザイン工学の内容に基づいて解説する。

12:00～13:00

昼食・ネットワーキング

13:00～15:00

＜演習＞連続的なイノベーション創出に向けたプロセスについて ～Continuous Innovation～

「連続的なイノベーション」をテーマに「人」「現場」「商品（モノ）」の徹底的な観察を通じて仮説（中長期ビジョン）を立て、そのビジョンに沿った試作品の作成やサービス改善を繰り返し、特に顧客満足度の高い成果に導くための手法・考え方について、演習を通じて実践的に学ぶ。

15:00～15:15

休憩・ネットワーキング

15:15～16:30

＜グループワーク＞イノベーション手法の構築とその評価について ～Building Innovation Ecosystems～

「イノベーションエコシステムの構築」をテーマに、自身が属する組織におけるイノベーション力の評価手法について、メンバー、チーム、組織全体といった各階層における特性を議論しながら学ぶ。※日本で初開催の内容

16:30～17:00

＜総括＞まとめ ～Closing Group Reflections～

◆講師



Tamara Carleton, Ph.D.
（タマラ・カールトン氏）
スタンフォード大学 講師
大阪工業大学 客員教授



William Cockayne, Ph.D.
（ウィリアム・コケイン氏）
スタンフォード大学 講師
大阪工業大学 客員教授

◆モデレーター



松井 謙二
Xport アドバイザー
大阪工業大学 RDC 副センター長
R&D工学部 システムデザイン工学科 教授

◆お問合せ